2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	Webデザイン (Web Design)		
ナンバリングコード	P11001	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル Web
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース		
授業コード	P100151	クラス名	
担当教員名	坪倉　篤志		
履修上の注意、履修条件	基本的なWindows PCの操作ができること。演習内容を重視するので、出席を欠かさないで下さい。CG関連授業で学習する程度にPhotoshop / Illustratorを用いた制作や、情報リテラシーで修得するパソコン操作スキルを用いた問題解決に取り組めること。授業時はもちろん、課外の予復習や自主的な制作と学習を通し、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。他は、備考欄を参照してください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。□		
参考文献及び指定図書	・詳解HTML＆XHTML＆CSS辞典　大藤 幹 (著) 秀和システム ・CG＆映像しくみ辞典　CGWORLD＋スマートイメージ(編著) WORKS CORPORATION□		
関連科目	コンピュータグラフィックス基礎、Webアニメーション、Webプランニング論、コンテンツ企画論、Webシステム構築、デジタルコンテンツ論		

○授業の目的・概要等

授業の目的	この科目の目的は、Webデザインに関する基礎的な知識と技術を演習形式で習得することにあります。 Webを用いた情報発信、WebデザイナーやWebシステムを構築できるエンジニアにとって、基盤となる知識と技術の修得を行います。	
授業の概要	演習は実際の開発現場と同様に、複数人でチームを組み、作業を分担しながらWebサイト構築を行なうスタイルを採用します。制作スタイルとして、まずテキストエディタを使ってHTMLのタグを直接記述する制作方法から学習し、次に、サイトビルダー(Adobe Dreamweaver等)を用いた制作方法を紹介します。デザイン手法としてはHTML以外にも、「CSS」(Cascading Style Sheet)、「JavaScriptについても取り上げます。授業では、制作としてのWebページ制作における導入部分に注力します。この分野で将来を考えている学生は、課される課題以外に、各自でのさらなる取り組み(企画、制作、コンテストへの応募、講習会や展示会への参加など)が重要になります。制作物はポートフォリオにまとめておきなさい。また制作で用いるソフトウェアは、有料から無料まで多数存在します。各自で環境を用意し、自身で日常的に作品作りをし、制作実績を積む必要性あります。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準(合計100点)

到達目標の観点	到達目標	テスト(期末試験・中間確認等)	提出物(レポート・作品等)	無形成果(発表・その他)
【関心・意欲・態度】	Webサイトの設計や構築に必要な知識を理解している。	10点	10点	5点
【知識・理解】	Webサイトの設計やWebサイトの基礎的な部分の構成について理解している。	10点	10点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	Webサイトの設計やWebサイトの基礎的な部分を構築できる。	10点	10点	5点
【思考・判断・創造】	構築するWebサイトの設計ができる。	10点	10点	5点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

レポートの提出、レポートの記載内容と質
課題やワークへの取り組み

○備考欄

出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をしなさい。登録無き場合、欠席と記録します。
授業速度は、タッチタイピング速度(無意味文字列　アルファベット)が1分間に100打鍵程度を中心として、進めます。
教室の収容人数を超える、履修希望学生者が居る場合、タイピングテスト、修得単位数やGPA等から、選別を行います。
演習では、教員が指定するWebシステムやサーバを用います。
課題への評価は、翌授業回の朝に行います。
課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出しなさい。
課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。
課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを参考にせず、問題解決できる能力を修得してください。(試験などは各個人での取り組みです)
スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。

授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。
授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。)

課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。
他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。
著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。
後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。

技術的な進化がめまぐるしい分野です。各自で日々、この分野に対するニュースや最新技術、コンテンツに触れる取り組みをしなさい。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： Webデザイン（Web Design ）　授業コード：P100151
担当教員： 坪倉　篤志

学修内容

1. Webサイト概論、HTML概論
Webサイトについて、歴史や仕組みについて学習します。また、授業で用いるシステムの操作方法などについて学習します。さらにWebページの制作に用いるHTML言語を学習します。。

予習： 世の中にあるWebページに対する調査（種類、内容、技術）（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋め、課題に取り組んでください。（約2.0h）

2. HTML：文字書式、画像、ハイパーリンク
HTMLを用いたWebページ制作の基礎について学習します。文字書式の設定、画像の設置、ページとページとのリンクを設置するハイパーリンクについて解説するとともに、制作技術について演習形式で学習します。

予習： 画像を用いたWebページについて調査（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋め、課題に取り組んでください。（約2.0h）

3. HTML：フレーム
1つのページに複数のHTMLを配置し、Webページを制作するフレームについて解説するとともに、制作技術について演習形式で学習します。

予習： メニューが配置されているWebページについて調査（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋め、課題に取り組んでください。別途用意した練習問題に繰り返し取り組みなさい。（約2.0h）

4. 前半の復習とまとめ、キー課題（前半：小作品の制作）
前半に対する復習にとりくみます。また習得した知識と技能を用いた小作品の制作に取り組みます。

予習： これまでに配布した資料や課題の整理（約2.0h）
復習： 授業中に制作した小作品のブラッシュアップに取り組みます。（約2.0h）

5. オーサリングツール概論
Webサイト制作を手軽にかつ、高度にデザインすることを可能にするオーサリングツールを用いた学習を行ないます。ここでは概論と制作に向けた基礎概念について、さらに操作方法として文字書式設定、画像配置、ハイパーリンクについて学習します。

予習： これまでに配布した資料の見直しと、要再取り組みになっている課題への取り組みを行います。（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。（約2.0h）

6. オーサリングツール：テーブル
オーサリングツールを用い、テーブルタグについて学習します。テーブルはWebページ上での表を用いた表現を可能にするだけではなく、Webページ上のレイアウトデザインを担う場合もあります。ここではテーブル用いた基礎的な利用法から応用まで、解説と共に制作技法の学習を行います。

予習： Webページのレイアウトデザインについての調査（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。（約2.0h）

7. オーサリングツール：フレーム、フォーム
オーサリングツールを用いたフレーム、フォームの制作について解説します。フォームはサイトアクセス者へのアンケート取得等に用いられ、現在のWebサイトでは非常に重要な機能となっています。ここでは、タグの解説からオーサリングツールを用いた制作技法の学習を行います。

予習： 前半で学習したフレームを用いたWebページについて調査（約2.0h）
復習： HTMLやオーサリングツール全般について復習。（約2.0h）

8. CSS：概論
HTMLとCSS（Cascading Style Sheet）の利用により、さらに高度なWebページ制作が可能になります。ここではCSSの概論について解説し、CSSを用いたページ制作の導入を行います。

予習： CSSに関して各自で調査しどのような技術であるのかを学習（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： Webデザイン（Web Design ）　授業コード：P100151
担当教員： 坪倉　篤志

学修内容

9. CSS：レイヤー
CSSを用いたページ制作においてオーサリングツールを用いることにより制作が容易になります。ここではオーサリングツールを利用したCSSの設定の基礎について学習します。またレイヤーについても学習し、制作技法について演習形式で学習します。

予習： CSSを用いたさらに高度なデザインに取り組みます。サイトに掲載する資料に目を通しておきなさい。（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。（約2.0h）

10. CSS：クラス
CSSのクラス機能の利用により、膨大なページにわたるレイアウトデザインを一括管理できます。ここではオーサリングツールを用いたクラスについて学習し、制作技法を習得します。

予習： CSSを用いたスタイル管理に取り組みます。サイトに掲載する資料に目を通しておきなさい。（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。練習問題にも取り組んで（約2.0h）

11. 調査課題（キー課題）
既に学習した知識を元に、実在するWebサイトを題材に、どのようにサイトは設計、構築されているのかを調査分析します。また調査結果をレポートにまとめ提出します。

予習： 世の中にある様々なWebサイトについて、デザインや構造について比較しておいてください。（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、課された課題に取り組んでおくこと。（約2.0h）

12. JavaScript：概論
JavaScript言語によりWebサイトにおける訪問者との対話機能の実装が可能になります。ここでは基礎概念について学習し、サイト制作技法について学習します。

予習： 演習にてこれまでに作ってきたWebページと、Google Mapsとの違いについて分析しておいてください。（約2.0h）
復習： 配布資料の空白の穴埋めと、オーサリングツールを用い課題に取り組んでください。各自で練習問題に取り組（約2.0h）

13. 制作課題（キー課題）
複数人のチームでのWebサイト制作演習を行ないます。各人がサイト制作の分担を行い、サイトの企画立案から制作までを行います。

予習： これまでに修得した知識と技術について見直しておいてください。（約2.0h）
復習： 制作に必要となる取材に取り組みます。（約2.0h）

14. 制作課題（キー課題）
第13回に引き続きサイト制作を行います。今回で完成をめざします。

予習： 今回は制作に取り組みますので、取材結果について整理しておいてください。（約2.0h）
復習： 制作サイトのブラッシュアップに取り組みます。（約2.0h）

15. 制作課題（キー課題）
プレゼンテーション、全体復習とまとめ

予習： 制作サイトを説明する資料の整理に取り組みます。（約2.0h）
復習： 本授業全体の復習に取り組みなさい。必要に応じて練習問題にも取り組みなさい。（約2.0h）

16. 期末試験

予習：
復習：